

渋谷でマナブ

第 9 号
発行 2019年 4月

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7
五島育英会ビル1階
TEL: 03-5428-3011
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shibuya/>

巻 頭 言

新島襄が卒業した アメリカの私立全寮制高等学校

東京渋谷学習センター 所長 宮本文人



同志社大学の創始者である新島襄は、アメリカに密航しましたが、乗った船の持主の計らいで、学校教育を受け、1867年にボストン北部にあるPhillips Academy Andover（フィリップス アカデミー アンドーヴァー）という高校を、1870年にAmherst College（アマスツ大学）を卒業しました。これらは、現在のアメリカでは超一流校です。日本の高校教育との違いをみるために、高校について紹介したいと思います。

Phillips Academy Andoverは、アメリカ独立戦争中の1778年に創立されました。現在では、4年制の共学の私立全寮制高等学校（boarding school）です。キャンパスは、大学のように広い敷地と立派な建物で構成されており、図書館、芸術系施設、運動施設が充実しており、当然、芸術系の授業科目や、運動を含むクラブ活動が充実しています。

アメリカの北東海岸には、同じような私立全寮制高等学校があります。1クラスが生徒数12人から14人程度で徹底した少人数教育を行うのが特徴です。harkness table（ハークネステーブル）と呼ばれる大きな円形または楕円形のテーブルの周りに教師と生徒が座り、生徒が発表して、教師が質問を行い、全員で議論をする形式で授業が進められます。まるで、大学における少人数ゼミナールのようです。また、大学で単位として認定される、AP（Advanced Placementの略）プログラムに指定された科目の授業も行っています。

中でも、Phillips Academy Andoverは代表的な学校です。この学校は、地域や人種の多様性を重視しており、全米の44州、海外の49か国（全生徒数の12%）から優秀な生徒を受け入れ、白人でない生徒の比率が50%となっています。全生徒数1150人、教員数226人、生徒と教員の比率5：1です。クラス当たり13人で少人数教育を行い、しかも、数多くの科目の授業を提供しています。

アメリカでは、入試制度の違いもあり、一流高等学校の教育が大学と接続しており、かなり充実しています。次世代の産業において主導権を握るために、欧米は大学教育が重要であると認識しており、その競争は既に高校で始まっています。日本の一流高等学校が入学試験に合格するための受験指導を教育の中心に据えているようでは、日本の大学教育がなかなかアメリカに追いつかないのも当然だと思います。



キャンパスと中央の歴史的建物



楕円形のharkness table



寄付による最新の理科施設



目 次

巻頭言「新島襄が卒業したアメリカの私立全寮制高等学校」	1
東京渋谷学習センター所長 宮本文人	
コラム	
「日本の精神障がい者たちと社会参加」 出口禎子	2
「土地所有権はどうあるべきか？」 奥田進一	3
東京渋谷学習センター 第1学期予定表	4
2019年第1学期より面接授業が変わります！	5
面接授業科目の追加登録について	6

日本の精神障がい者 たちと社会参加

出口 禎子

放送大学客員教授（北里大学 教授）



私は現在、4年制の看護大学で精神看護学や精神看護実習を担当しています。教員になる前は大学病院で12年間看護師として働いていましたが、大学院へ進学するため病院を退職しました。今、振り返ってみると、あのまま看護師として大学病院に勤務していたら、医療に従事する者でありながら、日本の精神医療事情を知る機会はほとんどなかったのではないかと思います。

かつてドイツ留学から帰国した精神科医の呉秀三が、20世紀初頭に私宅監置の調査を行い、当時の精神障害者が社会の中でどのような処遇を受けていたかを報告しました。その著『精神病者私宅監置ノ実況』の中で次のような有名な言葉を残しています。「わが国十何百万の精神病者はこの病を受けたる不幸のほか、この国に生まれたる不幸を重ねるものというべし」（金川, 2012）。つまり、わが国の精神障害者は精神障害になったという不幸だけではなく、この国に生まれたという二重の不幸をもっていると述べているのです。私はこの言葉を初めて知った時、大きなショックを受けました。現在も民間の精神科病院には、30年40年と長期にわたり入院している人がたくさんおり、この状況は「社会的入院」と呼ばれ、日本の精神科リハビリテーションの課題にひとつになっています。

一方、私がフィールドとする就労支援セ

ンター（B型）では、長い入院生活を経て退院し、地域社会の中でサポートを受けながら生活している人たちがいます。なかには20年以上も再発することなく地域社会で自分なりの生活を定着させている人もいます。かつては鍵のかかった閉鎖病棟に入院し、保護室への入室（鍵のかかった個室）処遇をうけ、身体拘束を経験した人たちであるとは思えないくらいです。ある男性は毎週1回、豆腐の引き売りに出かけ、地域の人たちと交流しており、それが彼の自信になっています。またある女性は私の勤務する大学の授業でゲストスピーカーとして130人の学生を前に、当事者としての闘病体験を語ります。その他、大学で学会やセミナーが開催されるときには、このセンターから数人の当事者が移動販売に来ていますが、彼らは対人関係に苦手意識を持っていますが、来賓に挨拶をして飲み物を出し、初めて出会う人たちにクッキーやケーキを販売します。日本の社会の中で精神障害者の働く場は決して多くはありません。しかし就労だけが社会参加の形ではなく、地域の行事やレクリエーションへの参加など、活動範囲は狭くても障害に応じた多様な社会参加が可能です。社会の中で少しでも活動の場が得られるよう、これからもさまざまな社会参加のための支援をしたいと考えています。



「ワークス多摩」の喫茶れすとで働く当事者



豆腐の引き売りをする当事者と看護学生たち

文献：金川英雄「日本の精神医療史—明治から昭和初期まで」青弓社、2012

2017～東京渋谷学習センター客員教授

土地所有権は どうあるべきか？

奥田進一

放送大学客員教授（拓殖大学教授）



人口減少社会に突入したわが国では、人口増加を前提としてきた社会インフラや社会常識の大転換が迫られています。人口増加社会では、土地所有は憧憬の対象であり、地価は上昇することが常識でしたが、いまやその対極の現象が発生しつつあります。たとえば、バブル景気時に売り出された別荘地等の所有者が、購入時よりもはるかに安い費用で、しかも多額の手数料を業者に支払って買い取ってもらった事例や、先祖伝来の広大な山林の相続人が、利用価値も予定もないことからその所有権の放棄を求める事例も発生しています。最近では、このような土地を「負債産」や「負債」と揶揄し、土地所有権をゴミのように放棄したい所有者も増えているようです。

しかし、民法には「不動産所有権の放棄」に関する規定はありません。民法が制定された明治時代には、このような発想は想定外だったのです。わが国では、伝統的に土地や建物という不動産は、きわめて重要で価値ある財産とみなされてきましたが、いまや、むしろ処分に困る厄介なものになりつつあります。この問題は、相続の際に顕在化します。そもそも、土地を相続し、所有するというのは、どのような現象なのでしょう。

命に限りある人間が土地所有権を購入しても、土地所有権は、いつかはその者から離れ、他の誰かに継承してもらわなくてはなりません。つまり、土地相続とは、相続人が相続税という代価を支払って、被相続人から土地所有権を購入している現象だと

いえそうです。そうだとすれば、土地所有権がいまのように高額で取引される根拠はなく、強いていえばその無限性ゆえでしょう。さらにいえば、土地を所有するのは人間ではなく、無限に永続することを予定した「家」なのではないでしょうか。有限性の主体には、その有限性の範囲内での権利とその行使が本来のあり方です。つまり、土地を所有するのではなく、利用することに重点を置くべきなのです。しかし、このような制度改革をして、最も困るのは政府でしょう。土地所有権は、固定資産税や相続税等の資産課税の源泉で、税収の約15%を占めているからです。わが国の資産課税は、諸外国に比べると比較的高く、それは、地価がやはり諸外国と比べて高いからにほかなりません。このような高地価を招いた遠因は、じつは明治6年の地租改正にあります。

地租改正によって、これまで米による物納を主としていた税制が、土地による金納に転換されたことで、土地所有者と土地所有権が確定されました。しかし、土地所有権を持つことができなかった農民は小作人に、下級武士は無収入状態になり、地租改正一揆や士族の乱が各地で勃発し、明治10年の西南戦争によって終結をみます。この西南戦争を率いた西郷隆盛は、「児孫のために美田を買わず」という名言を残しています。われわれは、この言葉をどのように解釈すべきでしょうか。土地所有権のあり方をめぐって、ますます思いを深めています。

2019年度 第1学期

4

April

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	*	*	*	*	*

6

June

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

8

August

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	*

5

May

月	火	水	木	金	土	日
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	*	*

7

July

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

9

September

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	*	*	*	*	*	*

閉所(月曜、祝日、学長又はセンター所長が定めた日)	単位認定試験(大学院・学部) 7/19~28
面接授業 4/13~8/4	教員免許更新講習試験 8/24・25
入学者の集い 4/7	夏季集中型科目(看護)単位認定試験 9/27・28
1学期学位記授与式 9/22	

開所時間 ※1

	センター	図書・視聴学習室	事務室※2
通常期間 火～日	9:30～18:00		9:30～12:00 13:00～18:00
単位認定試験期間(大学院・学部)	8:30～19:00	9:30～18:30	9:00～12:00 12:45～19:00

※1 規則等の改正により、開所・閉所日及び時間は、年度の途中でも変更になることがあります。

詳しくは学習センターの掲示板またはセンターホームページをご覧ください。

※2 申請等の受付を事務室開室時間終了の30分前までとするもの

(・印刷教材等販売 ・学研災加入 ・学生証再発行 ・各種証明書、学割証の当日発行)

2019年第1学期より面接授業が変わります！

大学設置基準(文部科学省令)や文部科学大臣の諮問機関・中央教育審議会の答申において、「試験の上単位を与えること」「評価に当たって客観性及び厳格性を確保すること」「講義時間に試験の時間を含めないこと」「シラバスに受講前の準備学習等について記載すること」などが求められています。

本学においても正規の大学としてこれらの要請に適切に対応するため、面接授業について以下のとおり変更を行います。

- ◆ 総実授業時間(675分)を確保するため、原則として1コマの授業時間が85分から90分(最後の8時限目は45分)に変更となります。

* 各学習センターの時間割表も変更となりますのでご確認ください。

- ◆ 授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等の時間が設定されます。

* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。(シラバスに記載されているので、必ずご確認ください。)

* フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。

- ◆ 成績評価が放送授業、オンライン授業と同じく合・否⇒A～Eの6段階に変更となります。

評定	評語	筆記試験の点数【目安】
①	基準を大きく超えて優秀である。	100点～90点
A	基準を超えて優秀である。	89点～80点
B	望ましい基準に達している。	79点～70点
C	単位を認める最低限の基準に達している。	69点～60点
D	単位を認める最低限の基準を下回る。	59点～50点
E	基準を大きく下回る。	49点～0点

* D, Eは不合格。3回以上欠席の場合は、評価を行わない(「-」と表記)。

なお、原則として全講義出席を前提。

- ◆ シラバスに面接授業「受講前の準備学習等」について記載されます。

放送大学では、今後とも多様な面接授業を開設してまいります。

問い合わせ先 放送大学学園本部 TEL 043-276-5111(代表)

2019 年度第 1 学期

面接授業科目の 追加登録について

科目登録状況により定員に満たなかった面接授業科目については、その科目を開設している学習センターで追加登録を受け付けます。

空席状況を、4月13日(土)12時から、各学習センターでの掲示、システム WAKABA でお知らせします。

4月19日(金)15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

なお、科目登録方法は、その面接授業を開設している学習センターにより異なりますので、具体的な受付方法については、それぞれの学習センターにお問い合わせください。

東京渋谷学習センターで開講している面接授業科目の 追加登録の方法は次のとおりです

A. 窓口 4月19日(金)より登録開始

受付初日の 19日に限り、午前10時までに追加登録抽選会場に入室した方を対象に、登録する順番を決める抽選を以下の①～③の手順で行ないます。

申請の際には学生証と授業料が必要となりますので、忘れずにお持ちください。

- ① 19日9時30分に抽選会場を開場し、同10時に抽選会場の入場を締め切ります。
- ② 入場された方から学生証をお預かりし、抽選を行ないます。(30分程度)
- ③ その抽選により決まった順に学習センター窓口にて、面接授業科目追加登録申請書を提出、授業料をその場で現金で納入していただきます。

※ 窓口での随時登録受付はこの抽選会の終了後より先着順に開始し、科目ごとに定められた受付期限まで行います。

B. 郵送 4月13日(土)より受取開始(登録開始は20日から)

空席状況の発表後から、郵送での申請用紙と授業料の受け取りを開始します。

●面接授業科目追加登録申請書 ●所定の授業料

●学生証のコピー ●返信用封筒(宛先を記載、82円切手を貼付)

以上4点すべてを同封の上、現金書留により学習センターまでお送りください。

ただし、13日から登録初日(4月19日)までに到着したものはお預かりのみとし、4月20日に開封、空席があれば登録を行ないます。

期限内に郵便が届かなかった場合、申請した科目がすでに満席の場合、登録内容に不備がある場合は返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。ご了承ください。